

台風24号に伴う輸送障害を検証し 組合員の要求実現をかちとる 緊急安全集会開催！

台風24号に伴う輸送障害を検証し
組合員の要求実現をかちとる緊急安全集会



安全・健康・ゆとれ・働きがいのある職場を確立しよう！



各部会からの報告



本部からの問題提起

JRひがし労本部は、10月19日(金)に高崎市労使会館において「台風24号に伴う輸送障害を検証し組合員の要求実現をかちとる緊急安全集会」を開催し、組合員100名が結集しました。

主催者の竹田執行副委員長から、冒頭、会社による仙台の仲間2名への不当転勤に対し、会社の横暴を許さず連帯し徹底してたたかうことが述べられたのち、申1号の申し入れ内容の意思統一、労働協約・協定の締結、文化祭、平和のつどい開催についてあいさつしました。

つづいて、各部会・エルダー協議会から、輸送障害における現場対応の実態について報告を行いました。情報がなく不安のなか業務していた、乗務員・車両の運用ができず長時間停車が相次いだ、指令に問い合わせても音信不通、情報がなため旅客が殺到し対処できない、業務に追われ一睡もできない、異常時に対応できる体制・要員になっていないなど、現場で苦慮する組合員の実態と悲痛な声が出されました。

そして、田中業務部長より、計画運休を初めて実施するうえでの情報発信能力、現場に対する情報提供・情報の内容、バス代行手配の実態、高崎線のみ通常運行の判断、乗務員操配のあり方、指令の判断能力などについての問題提起と、申1号・申2号申し入れの提起を行い、最後に竹田執行副委員長の団結カンパニーで終了しました。